

三河中山間地域で安心して暮らし続けるための健康ネットワーク研究会

■ データ（活動）

所在地 豊田市岩神町仲田 20 番地

発足 平成 22 年

■ 講評

足助病院を中心に地域住民、関係団体、地域活動に関わる方々等により平成 22 年 9 月に立ち上げられたのが「三河中山間地域で安心して暮らし続けるための健康ネットワーク研究会」（略称：健康ネットワーク研究会）であり、この研究会によって「いきいき生活支援事業」が行われている。

そもそも中山間地域は人口の減少や公共交通機関の不足等の問題を抱えており、さらに高齢化という問題を抱える地域の現状に対して、この研究会による活動は精力的に行われている。まず特筆すべき点は「地域住民の生活状況」に関するアンケート調査、「認知症を地域で見守る」に関連するアンケート調査を実施し、地域の現状を把握、そこからニーズを汲み取っていくという手法である。

具体的な活動は、「配食サービス」「送迎サービス」「ロコモ予防体操倶楽部」「脳いきいき倶楽部」「院長サロン」「ミニデイサービス」「歌謡教室」「整膚美容サロン」「公開シンポジウム」等と実に幅広い。特に「配食サービス」と「送迎サービス」を実施するにあたってはまず地域座談会を行い、さらに提供事業者との打ち合わせも念入りに行っている。具体的なサービス利用に関しては利用者 1 人ひとりとの連絡・調整も必要であり、そうした作業にあきらめずに取り組んだのは地域の暮らしを大切にしたいとの思いがあったからであろう。

地域住民や利用者との話し合いを何よりも重視している点は協同組合運動の原点やその歴史的意義を思い出させてくれる。足助病院を中心として地域のヒューマンネットワークが網の目状に広がっていることが目に浮かぶようであり、中山間地域が国土面積の 73% を占める我が国においてこの取り組みは暮らしを支えるためのモデルになると言っても過言ではないだろう。

（倉田あゆ子）



地域住民の生活支援事業のひとつである送迎サービス



身体的自立機能の維持・向上に貢献している
ロコモ予防体操倶楽部



認知症予防を目的としたレクリエーション等を実施する脳いきいき倶楽部



健康に関するお話を聞いたり、
各自が写真を持ち寄りみんなと話し合ったりする
院長サロン



地元のカラオケ教室の講師が開催する歌謡教室



病院的待合ホールを利用して行う整膚美容サロン



公開シンポジウム